

岡山県議会議員

秋山まさひろ

県議会だより

6月14日～7月3日
令和6年6月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086) 448-8833 発行人：秋山 正浩



令和6年6月岡山県議会定例会が6月14日から7月3日までの23日間で開催されました。

今回の議会だよりにつきましては、定例会において、私の所属する「民主・県民クラブ」を代表し、質問に立ち、以下の内容について執行部より答弁を受けましたので、質問・答弁内容の要旨を一部ご紹介させていただきます。



人口減少問題について

次期プランの策定方針について、人口減少問題を新たな柱に位置付けることを検討すると述べたが、国と地方がともに少子化対策に重点を置いて取り組んできたが、人口減少に歯止めがかからない厳しい実態に直面している。少子化対策をはじめ人口減少問題に対処しながら岡山の未来をどう描くのか、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

県の未来についてであります。少子化の現状は一層厳しさを増していることを認識しており、若い世代の結婚の希望をかなえる対策など、待ったなしの課題である少子化対策に不退転の覚悟で取り組みたいと考えております。また、若者等の人材の還流や定着などの社会減対策を引き続き推進す

るとともに、当面避けられない人口減少から生じる諸課題にも対応しながら、すべての県民が明るい笑顔で暮らす生き生きとおかやまの実現に向け、取り組んでまいりたいと存じます。



防災・減災について

県管理河川に関する防水予報を含め、大雨の際、国や県、市町村から、様々な情報が提供される。さらに、気象庁による大雨

特別警報の追加など頻繁に見直されていることから、防災気象情報が県民にとって複雑でわかりにくいものになっている。県は、あらためて、県民が避難を判断するための防災情報をどう周知するのか、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

防災気象情報は、市町村の避難情報の発令判断を支援する情報であり、住民が主体的に避難行動をとるために参考とする情報であることから、県民がこの情報の持つ意味や目的を正しく理解することが重要と考えております。近年、様々な防災情報が複雑化し、わかりにくいとされていることから、それぞれの情報がどのタイミングで発表されるのか、いつ避難を開始すべきかなど、防災気象情報と避難情報に関連付けて、県民に対して、丁寧に周知してまいりたいと存じます。

EV先進県岡山について

本年4月に開催の「知事と一緒に生き活きトーク」では、「EV先進県岡山の実現に向けて」をテーマに、EVや充電設備を導入した企業の方など、EVの利用を通じて発見した可能性や課題、EVの普及に必要な取組や有効なアイデアなどについての意見交換を行ったが、総括的な見解を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

参加者の皆様が、積極的にPRしていただいていることを大変ありがたく感じるとともに、EVの魅力や普及に向けた方策などの率直なご意見を伺うことができと考えております。県としては、今回のご意見も参考にしながら、引き続き普及拡大に向けた取組を進めてまいりたいと存じます。



EV・PHEVの普及台数の目標設定ならびに、充電設備（急速・普通）の目安を示しているが、それぞれの目標、目安の達成が不可欠だ。その先にある、知事が考えるEV先進県岡山の具体像について伺いたい。

【答弁】伊原本知事

静粛性に優れ自宅で手軽に充電できるといった特性が広く理解されることで、普及が図られるとともに、充電設備の導入が進むことで、安心して利用できる環境が整備さ

れていくものと考えております。また、今後の技術革新によって、航続距離の延長や充電時間の短縮など、EVがさらに利用しやすいものとなり、誰もが普通にEVを選択する将来を期待しているところであります。今後とも、魅力発信や車両、充電設備への支援などを通じて、将来像の実現に向けた取組を進めてまいりたいと存じます。

医療的ケア児への支援について

岡山県医療的ケア児支援センターを開設し、2年が経過した。これまで実施したアンケートでは、短期入所の利用や福祉サービスの充実を求める声が多く、実効性のある施策に期待が高まる

が、医療的ケア児とその家族の生活を支える支援について、現状認識と今後の取組を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

医療的ケア児支援センターや関係機関等による協議の場の設置など支援体制を整え、家族等の相談支援や、医療・福祉・教育等のネットワークづくりに取り組んできたところであり、今後、支援センターの一層の周知や、支援者の対応力の向上、短期入所など受入施設の拡大等が必要と考えております。引き続き、各機関等との連携・役割分担を図り、家族の声や支援者の意見、受入施設側の課題等を把握しながら、医療的ケア児とその家族の地域での生活を支える取組を進めてまいりたいと存じます。

カーボンニュートラルについて

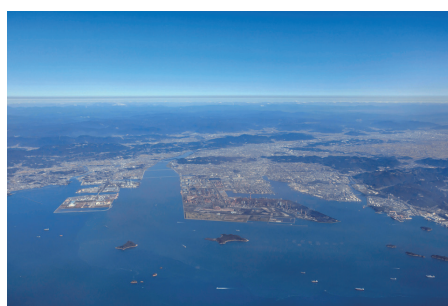
本県産業を牽引する水島コンビナートのカーボンニュートラルの実現は、本県にとって大変重

要な位置づけにある。多様な産業が集積しているからこそ発生する課題や、取り組もうとすれば多額の予算が必要となることなど、県のサポートが必須である。昨年度実施した水素需要調査の結果も踏まえ、進捗状況及び見えてきた課題について伺いたい。

【答弁】伊原本知事

水素需要調査の結果、水島コンビナートは、我が国の水素導入の拠点となり得る大きなポテンシャルを有することが明らかとなったところであり、今後、拠点整備に向けた取組の具体化を図るとともに、カーボンリサイクルについても検討を進めることとしております。また、エネルギーの転換に係るインフラ投資や技術開発等の課題もあることから、国に支援を要望するとともに、企業間連携による課題解決に向けた取組を進める

など、水島コンビナートのカーボンニュートラル実現に向け、官民一体となつて、しっかりと取り組んでまいりたいと存じます。



企業誘致と投資の促進について

企業が拠点立地及び投資を検討するなかで、交通の利便性、人材、産官学の連携状況などはもとより、自治体の助成（補助金）についても重要視されている。本県の優位性などのPRとともに、補助金の優遇制度や地域

未来投資促進法等の企業への確実な情報発信が重要だ。企業誘致と投資の促進にどう取り組むのか、また、企業立地と投資の推進を後押しするため、大型投資・拠点化促進補助金に成長産業分野への補助率の上乗せを検討してはどうか、併せて伺いたい。

【答弁】伊原本知事

立地や投資を検討している企業に確実に情報を届けるため、企業立地セミナーやホームページを通じ、優れた立地環境や優遇制度等を広く発信するとともに、積極的に企業を訪問し、ニーズに応じたきめ細かな情報の提供に努めているところであり、補助制度については、県内への拠点化・集約化を支援するための制度を創設するなど、充実を図ってきたところであり、今後とも、社会経済情勢や投資動向などを踏まえ、企業の立地や投

資に対する効果的なインセンティブとなるよう、不断の見直しを行ってまいりたいと存じます。

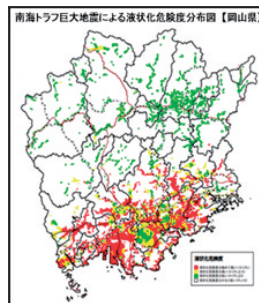
港湾の液状化被害 想定等について

県が発表した「南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図」では、水島港、宇野港及び岡山港は液状化の危険度は極めて高いと想定されている。港湾の重要機能が最低限維持できるようBCPを策定しているが、能登半島地震を踏まえ、今後南海トラフ地震など大きな地震が発生した場合の港湾での液状化被害の想定と対策を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

南海トラフ巨大地震が発生した場合、水島港、宇野港及び岡山港では、液状化により広範囲で陥没や段差等の被害が発生すると想定されるため、各港では、地震発生後も

船舶が係留できるような耐震強化岸壁を整備しております。今後とも、訓練等を重ねて港湾BCPの実効性を高めることにより、応急復旧体制の強化を図り、緊急物資輸送等の重要機能の確保に努めてまいりたいと存じます。



教員の働き方改革について

県教委は働き方改革を一層推進するため、緊急宣言等を作成したが、小・中・高等学校ともに時間外在校等時間の平均値が月45時間を超える状況だ。この現状を改善するため、保護者や地域関係者とともに各教育委員会、各学校が実現に向け

て取り組む必要があるが、具体的にどう取り組むのか、教育長に伺いたい。

【答弁】教育長

県教委としては、市町村担当者や校長研修等の場を活用して、余剰時間や部活動時間の精選、時間割の工夫などによる登下校時刻の見直しや、デジタル採点システム・保護者連絡システム等を活用した取組などの事例を提供するとともに、働き方改革の取組を促すことで、緊急宣言等の実効性を高めてまいりたいと存じます。



少年非行防止対策について

非行防止教室やSNSを活用して、犯罪実行者募集情報（いわゆる闇バイト）及び禁止薬物の危険性や悪質性について広報啓発活動を行う等の非行の未然防止対策を強化されてきたが、この度、県警察は学校警察連絡室と少年サポートセンターの業務を統合した「健全育成対策室」を新設された。健全育成対策室が果たす役割と今後の展望について、警察本部長に伺いたい。

【答弁】警察本部長

健全育成対策室では、問題行動のある少年に対する警察官による迅速・的確な対応と、少年育成官による立ち直り支援活動とを一体的に運用することが可能となり、これまで以上に臨機応変かつ集中的な活動を推進して

いくこととしております。今後、学校現場から寄せられる相談・要望内容に応じ、個別的・重点的な訪問活動を行っていくほか、非行防止教室についても、きめ細かな内容にしていく、さらには、訴求力を高める観点から、YouTube等のSNS広告として、短時間のメッセージ動画を配信するといった新たな取組も積極的に取り入れながら、より効果的な少年非行防止・保護対策を推進し、少年非行情勢の更なる改善に繋げてまいりたいと考えております。



知事提案説明要旨(抜粋)



第74回全国植樹祭について

天皇皇后両陛下御臨席の下、県内外から招待者を迎え、豊富な森林資源の循環利用の必要性や本県の歴史・文化等の魅力を発信するなど、大変意義深い大会となり、御支援、御協力をいただいた方々に御礼申し上げます。今大会が、県民の皆様には森林やみどりの大切さをあらためて知っていただくきっかけとなり、

みどりあふれる郷土が未来へ継承されるよう、引き続き取り組んでまいります。また、天皇皇后両陛下におかれましては、御滞在の中に、地域の将来を担う学校での人材育成の取組や、平成30年7月豪雨災害からの復興状況等を御視察いただき、県民との触れ合いにおいては、たくさんの優しいお言葉をおかけいただきました。両陛下のお姿やお人柄は県民の皆様方の心に深く刻まれたものと考えており、心から感謝申し上げます。



教育県岡山の復活について

学ぶ力の育成について

は、学力調査等の分析結果に基づいた指導・支援体制を構築するなど、基礎学力の定着に向けた取組を進めた上で、課題解決型の学習を一層推進し、学びのチャレンジ精神や学ぶ力の育成を図り、学力向上につなげてまいります。また、校務DXにより業務の効率化を図るとともに、全小中学校への教師業務アシスタントの配置や、部活動指導員の増員など、外部人材の効果的な活用をさらに進めることで、教員が教員にしかできない業務に注力できる環境づくりを推進してまいります。

地域を支える産業の振興について

企業の「稼ぐ力」の強化につきましては、生産

性向上に向け、経営革新計画の策定やDX推進人材の育成に対して、企業の経営状況や成長段階に合わせた支援に取り組んでまいります。また、愛知県の大手自動車メーカーに出向いて展示商談会を開催し、私みずから県内中小企業の優れた技術や製品をPRしてまいります。

安心で豊かさが実感できる地域の創造について

EVの普及について

は、3月に策定した充電環境整備ビジョンで将来像をお示したところであり、今後は、この将来像を県民・事業者・行政が共有し、連携しながら効果的・効率的なインフラ整備を促進するとともに、自宅などでの充電を基本としたEVの使い方を周知することにより、EVのさらなる普及を後押ししてまいります。

脱炭素社会の実現について

は、環境文化部に新設した脱炭素社会推進課を中心に、2050カーボンニュートラルに向けた取組を加速してまいります。省エネ対策や、再生可能エネルギーの導入を進める家庭、事業者、市町村への支援の充実を図るとともに、県みずからの率先行動として、県有施設のLED化や太陽光発電設備設置に向けた調査などを進め、地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け取り組んでまいります。

水島コンビナートの脱炭素化については、昨年度、官民が連携して実施した水素需要調査の結果等を踏まえ、水素の供給に向けた拠点の整備やサプライチェーンの構築など、カーボンニュートラルコンビナートの形成に向け、立地企業と連携し取組を加速してまいります。

※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

●岡山県議会ホームページ

<http://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>

●議会映像配信

(ライブ中継・録画中継)

<http://www.okayama-pref.stream.jfit.co.jp/>

議場に起こりくださった皆様
中継をご観くださった皆様
ありがとうございました。

